

みえの子ども応援プロジェクト

ありがとう

第17回

ありがとうの一行詩
コンクール作品集 三重県

「ありがとうの一行詩コンクール」に寄せて

17回目となりました「ありがとうの一行詩コンクール」に、今年もあたたかい「ありがとう」の気持ちを綴った作品をお寄せいただきました。

家族や友だち、地域の方々に、思ってはいるけれどなかなかお互いに伝えられない「ありがとう」の気持ちを、一行詩にすることで、普段自分を支えてくれている周囲の方々ややさしさに気づいたり、感謝の気持ちをより一層深めていただけたと思います。

この「ありがとうの一行詩コンクール」をきっかけに、子どもから家族や友だち、地域の方々との交流の輪が広がり、子どもたちが豊かな心を育んでくれることを願っています。

県では、令和7年3月に全面改正した「三重県子ども条例」に基づき、子どもの権利を保障し、全ての子どもが豊かで健やかに育ち、安全に安心して暮らすことができる社会の実現に向けた取組を進めています。

子どもは「三重の宝」、私たちの「未来」そのものです。未来を担う三重の子どもたちが、将来に夢や希望を持ちながら成長できる環境をつくるため、引き続きお力添えいただきますよう、よろしくお願いたします。

Contents

家族部門

最優秀賞	2
(最優秀賞 選評)	2
協賛企業賞	3
優秀賞	15
佳作	16

友だち部門

最優秀賞	19
(最優秀賞 選評)	19
協賛企業賞	20
優秀賞	26
佳作	27

地域部門

最優秀賞	29
(最優秀賞 選評)	29
協賛企業賞	30
優秀賞	35
佳作	36

審査委員メッセージ	38
-----------	----

最優秀賞



おじいちゃんへ

おじいちゃん、最近さいきん気づきづいて泣ないちゃった。
 私わたしが昔むかし、あげたおまもり。色いろがうすくなるまで
 かざってくれた。」「ありがとう」「とは言いえな
 かったけど、本当ほんとうにすごくうれしいよ。

鈴鹿市 小学6年生 山崎 和楽

最優秀賞 選評

かわいいお孫さんがくれたお守り、おじいちゃんにとって何よりの宝物だったのでしよう。色があせても捨てられなかったのでしょうね。「泣いちゃった」のは大切にしてきてくれたことがうれしかったからなのでしょうが、それとも「ありがとう」と言えなかったことへの後悔なのでしょう。言葉にできなかったとしても、きつとあなたの思いは伝わっていたはず。おじいちゃんの方まで幸せな人生をおくってくださいね。それがなによりのおじいちゃん孝行です。

審査委員長 野呂 健一 (高田短期大学キャリア育成学科長)

宇野重工株式会社賞

父へ

夜空を見上げると、家族で夜中の初詣に出かけたことを思い出します。父さんが加わって、一粒増えた星の海。いつも見守ってくれてありがとうございます。いつか、そちらで再会を。

岡山県 40代 岩中 幹夫

特定非営利活動法人日本徒手空拳道連盟優賞会賞

お父さんへ

いつも私と一緒にいてくれてありがとう。私と一対一で話す時も真剣に聞いて、「ずっと味方だからな。」と言ってくれたよね。私はその言葉に救われたよ。これからもよろしくね。

桑名市 小学5年生 坂元 美咲

株式会社ヒラマツ賞

親父へ

母が天国に旅立ってから、不器用に家事をこなす親父の背中に隠した「ありがとう」。照れくさいけれど、いつかきつと伝えたい。その背中を追いかけながら。

菰野町 20代 太田 琉斗

釜屋株式会社賞

お父さんへ

仕事から帰ってきて疲れているはずなのに毎日笑顔で話してくれて、次の日の朝ごはんの味噌汁も作ってくれる。そんなお父さんは、最高で最強だと思っつ。

いなべ市 中学3年生 藤田 一摩

株式会社NTジotech中部賞

家族へ

「いつもありがとう」とお父さんとお母さんに言ったら、ギュッとだきしめてくれた。すごく温かった。

玉城町 小学4年生 山本 莉菜

天元工業株式会社賞

おばあちゃんへ

昔から私が何かするたびに、「あなたは優しい子だよ」と褒めてくれたね。この言葉のおかげで私はどんな時も良い人間であろうと努力できているよ。ありがとう。

20代 古市 七星

三重シンリョー設備株式会社賞

我が子たちへ

いつもかわいいお手紙ありがとう。振り返った「く」やへびみたいなの「え」も好きだけど、「だ

いすき」だけはびっくりするくらい上手。どの

お手紙にも必ず入ってるもんね。

30代 □野 萌

株式会社石吉組賞

息子へ

娘と結婚して息子になったあなた。いつも笑顔でやさしく娘を見守ってくれていますね。私たちの家族になってくれてありがとう

津市 50代 山本 麻美

有限会社小林組賞

夫へ

結婚して43年。あなたと過ごせた人生の重み
をしみじみ感じるよ。お互いだいぶポンコツに
なってきたけど、ここまできたら絶対金婚式ま
でがんばろうね！

佐賀県 70代 古賀 由美子

西出建設株式会社賞

頑張ってるお母さんへ

お母さん、いつもお仕事頑張ってくれてあり
がとう お仕事大変で疲れてるのに習い事の送
り迎え そして美味しいご飯 お母さんの笑顔
をありがとう 私にとって自慢のお母さんだよ

伊勢市 小学4年生 成川 愛菜

オーゴエ(おーじえ)賞

祖母へ

ばあちゃんのお癖は、「ばあちゃんの孫やも
ん、大丈夫。」そう言われると、何でもできる
気がして勇気がわきました。昨年天国へ行った
ばあちゃん。ずっと忘れないよ。ありがとう。

40代

株式会社土屋建設賞

夫へ

私の父が亡くなった時、ずっと一緒にいてく
れてありがとう。隣にいて握ってくれていた手
のあたたかさに救われました。あなたの心が
弱った時は私が手を握り続けるよ。

神奈川県 30代 渡辺 美奈

三重県商工会連合会賞

おばあちゃんへ

いつも、味方でいてくれるね。あんなに大きく感じたおばあちゃんももう少しでぬいてしま
いそうだよ。セルフレジが苦手なおばあちゃん。
これからは私が助ける番だよ。

玉城町 小学5年生

松岡建設賞

父ちゃんへ

いつも朝会えなくて「おはよう」も言えない。
仕事の帰りはいつも夜の9時ぐらい。「おやす
み」だけは言える。その4字が宝物。

鈴鹿市 小学6年生 保坂潤

アイテム建設株式会社賞

娘達へ
むすめたちへ

私が疲れている時「ママ、ゆっくりアイス食
べとき。めぐちゃん見とくから」と言ってくれ
る長女と次女。三女のお世話をしてくれてあり
がとう。アイス食べて元気がでたよ。

名張市 30代 中谷 歩

株式会社中村組賞（尾鷲市）

おとうさんへ

ほいくえんのときもがくぐうも、まいごち、
はやくむかえにきてくれてありがとう。おやす
みのひにパパとするサッカーが、とってもだい
すきだよ。

桑名市 小学1年生 前田 隼大朗

株式会社前田テクニカ賞

お母さんへ

普段は恥ずかしくて言えないけど、私を産んでくれてありがとう！私が今、幸せに過ごせるのはお母さんのおかげです！世界一素敵なお母さん。いつもありがとう、大好きだよ。

いなべ市 中学2年生 宮木 彩夏

株式会社ウエオカ金属工業賞

お父さんへ

忘れられがちな父の日だから、きっと本人も忘れてる。だから私がいっしょに出させてあげるよ。普段は見れない喜んだ顔が見れるといいな。

いなべ市 中学2年生 川田 夢叶

有限会社深緑茶房賞

おばあちゃんへ

いつも支えてくれてありがとう。ある日突然倒れてしまったおばあちゃん。入院の日々が長く、心にぽっかり穴が空いたようだったよ。だからもう、私たちから離れないでね。

いなべ市 中学3年生 水谷 美空

株式会社ゴーリキ賞

ちいばへ

コロッケ、グラタン、ハンバーグ会えない分だけ、食べたいメニューがふえていく。作る時の横顔が、いつも頭にかんでくる。またいっしょに作ろうね。そしてありがとう。

松阪市 小学4年生 宇都宮 有惺

株式会社カーサービス中部賞

家族へ

ふつうの日がいちばん幸せ。5人で過ごせる
あたりまえの毎日に、心からありがとうございます。

鈴鹿市 中学3年生 中村 可夢偉

株式会社オオコーチ賞

お母さんへ

ごはんも、洗濯も、朝起こしてくれるのも。
おはよう、おかえり、おやすみの言葉も。日
常だけど永遠じゃないからこそ伝えたい。お母
さん ありがとう。

鈴鹿市 中学3年生 三村 希実

株式会社加藤商店賞

お父さんへ

パパ、いつも「大好きだよ」と言って、大切に育ててくれてありがとう。わたしはいつもその気持ちに感謝しています。

玉城町 小学5年生 坂谷 遥香

北伊勢上野信用金庫賞

パパへ

いつもあそんでくれてありがとう。パパとあそぶのが、とってもたのしいよ。これからもういっぱいいろいろなたのしいあそびをしようね。

鳥羽市 小学1年生 井尻 采花

優秀賞

カミさんへ

今年真珠婚を迎えるカミさんへつつつー緒にいるとイライラさせてしまうけどどうやら私にはこれから先も君しかいないみたいだ。この想いは一生ものです。いつもありがとう

津市 50代 高木 俊雄

お母さんへ

「お礼を言うのはあたりまえ。」お母さんにそう言われてから、私はお礼を言う意識をするようになった。お礼を言うことの大切さに気付くことができました。ありがとう。

津市 中学1年生 山本 彩葉

佳作

お母さんへ
 お日様みたいなあつたかい手で包み、「大丈夫」。にっこり笑うと世界が開く。ありがとうって言いたいの言葉がふわり逃げちゃうの。だから今日ね、こっそり書いたよ。大好きだよ。お母さん。♡

四日市市 大学1年生 チャミット

じいじ、ばあばへ
 じいじ、ばあば、やさいを作るその手にありがとう。おいしいよ。

いなべ市 小学3年生 寺輪 澄人

おかあさんへ
 連絡すると、最後に『連絡ありがとね』とメッセージをつけてくれるね。だからボクも『こちらこそありがと』と返すよ。

20代

夫と息子へ
 年若いもずっといい夫婦でいようと決めた私たちのところに来てくれて、私たちを親にさせてくれてありがとう。夢だった母にさせてくれてありがとう。最高に私は幸せです。

四日市市 40代 池田 未来

娘へ
 小さな手のぬくもりが、どんな日もがんばれる力になる

30代

お父さんへ
 いつも優しいお父さん。ときに厳しいお父さん。その厳しさに反発するときもある。でもその厳しさは僕のことを思っていることだと知っている。いつもありがとうお父さん。

鈴鹿市 中学3年生 稲垣 光晟

おかあさんへ
 私に、たくさんの冒険をさせてくれたね。叱ってくれたり、ほめてくれたお陰で、たくさんの、自分を知ることができたよ。私を、生んでくれてありがとう。

津市 中学1年生 西山 千穂乃

お母さんへ
 いつも、困っている人を助ける背中を見せてくれてありがとう。お母さんみたいになりたいと思います。ほんとうにそんなけいしています。

鈴鹿市 中学2年生 森 涼音

パパへ

じてんしゃのれるようになったよ。パパありがとう。

いなべ市 小学2年生 大木 璃子

お母さんへ

発表会の日、応援付きのお弁当、緊張がほぐれたよ。ありがとう。

いなべ市 小学6年生 近藤 真白

家族へ

家に帰ると明かりがついている、当たり前のようにあたりまえでない毎日、騒がしい日々、疲れることもあるけど、疲れさせてくれてありがとう。

京都府 40代 永富 真一

最優秀賞



軽音楽部の仲間へ

自信がない私にいつも、「大丈夫、自信持って」と言ってくれてありがとう。おかげで一緒に演奏する楽しさを知れました。皆と奏でる音楽が世界一大好きです！

津市 高校3年生 植田 羚愛

最優秀賞 選評

仲間からの嬉しい言葉ですね。きっと、共に時間を過ごして、あなたのことを信頼していたからこそ、この言葉が自然に出てきたのだでしょう。感謝できる心も素敵です。

心の繋がった仲間と音楽を作るのは、かけがえない尊い時間ですよ。日々の練習は楽しいことばかりでなく、辛く、もどかしい思いをすることも多いでしょう。それでも『皆と奏でる音楽』は素晴らしい！本番前のドキドキする緊張感、終わったあとの幸せな笑顔が目に見えかぶ作品でした。

審査委員 飯田 文美 (ピアニスト・ピアノ指導者)

株式会社アイフク・テック賞

助けてくれた友達へ

松葉杖では荷物が重くて2階に上がれなかった。「持ってくれる？」って頼んだら、次の日から何も言わずに朝も帰りも持ってくれた。自分の荷物もあったよ。ありがとう。

鈴鹿市 中学3年生 中谷 奏太

有限会社ビルディック賞

部活で出会った友達へ

部活の試合で私が負けたときは、いつも「ギョッ」きの技よかったよ。「次の試合も頑張ろう。」と声をかけてくれたね。そんなたった一言で、私はこれからも頑張ろうと思えるよ。

津市 中学2年生 並木 千夏

大内山酪農賞

大好きな親友へ

苦しい時もそばにいてくれるよね。楽しい時自分のことのように笑ってくれる。いつもは素直になれないけど、誰よりも味方でいてくれてありがとう。

津市 中学2年生 中林 和瑚

菱田建材株式会社賞

昔の同級生たちへ

故郷に転居してそろそろ2年。半世紀ぶりに帰ってきたん。方言で話せるのがとても嬉しい。温かく迎え入れてくれて、ありがとう。穏やかな気持ちで暮らしています。

津市 70代 後藤 淳子

株式会社三重フリット賞

友だちへ

「頑張れ」と他人事じゃなくて「頑張ろ」と
自分事のように応援してくれる。「人じゃなく
て仲間がいると思える。わずかな言葉遣い、わ
ずかな心遣い、ありがとう。」

鈴鹿市 中学3年生 権野 優羽

株式会社東海テクノ賞

世界で一番大好きなあなたへ

人の顔色ばかり気にする私に、「ありのまま
でいいんだよ。」と笑いかけてくれましたね。
そのままの私を受け止めてくれた心優しいあな
たも、どうかありのままであってね。

大台町 高校1年生 永畑 あんじ

宮本建設株式会社賞

応援してくれる友だちへ

部活の試合でいつも率先して大きな声で応援
してくれました。その応援を聞くと苦しいときで
も「頑張ろう」と思えた。本当にありがとう。

鈴鹿市 中学3年生 前川 二二

株式会社ミツイバウ・マテリアル賞

親友へ

あなたと出会って20年。落ち込んだ時、不安
な時、いつも励ましてくれる。お互いの子ども
の成長も見届けながら、可愛いおばあちゃんに
なろうね！約束だよ。

宮城県 30代 伊藤 裕子

株式会社takac賞

私わたしの一番いちばんの親友しんゆうへ
初はじめて会あった時とき、私わたしは緊張ぎんちゆうして上じゆうず手に話はなせな
かったね。だだけど、温あたたかく接せつしてくれて私わたしの心こころ
がほぐれたよ。おおかげで今いまの私わたしがあります。あ
りがあらあとう。

朝日町 中学1年生 渡邊 ひかり

株式会社リョーケン賞

大だい好すきな友ともだちへ
私わたしの気持きもちに寄より添そってくれてあありがあらあとう。
嫌いやなこことがああった時とき、真剣しんけんに聞きいてくくれて目め
をみてくくれる君きみが、辛つらい時ときに支たえらられるよよう
に私わたしはなりたい。

朝日町 中学1年生 長谷川 葵

万協製薬株式会社賞

友だちへ

いつもいっしょにあそんで楽しいよ。ありがとう。ねつを出して学校を休んでも、みんなは会いたくなるよ。大すきな友だち、ありがとう。

鳥羽市 小学3年生 木下 彩瑚

学校法人高田学苑高田短期大学賞

親友の2人へ

出逢って27年。2人の優しさに、数え切れない程、支えられ、救われています。何があっても、友達で居てくれて、ありがとう。これからも末永くよろしくね。

福岡県 30代 中村 優花

優秀賞

友人へ

いつもニコニコ笑顔で話してくれてありがとう。その笑顔を見ると、私も自然的に笑顔になつてくるよ。次は、私がみんなを笑顔にしたいな。

いなべ市 中学2年生 水元 杏珠

友達へ

入学したとき緊張してなかなか人と話せなかったけどよく声をかけてくれたよね。緊張して声でなかったけど心の中ではうれしかったよ。ありがとう。

中学1年生 奈良 瑞希

佳作

親友へ

保育園の時に一番最初に友達になってくれて
 ありがとう。ずっとずっと今も友達でいてくれ
 てありがとう。これからも親友でいてね。

いなべ市 中学1年生 アリアス・ルカス

一緒にがんばった仲間たちへ

一緒に笑い、一緒に泣き、夢を追い駆け抜けた日々。全部が僕の宝もの、二年半ほんとにありがとう。

鈴鹿市 中学3年生 玉置 陽仁

友だちへ

あなたとかわすのは、年賀状と誕生日のメッセージしかありません。一年に二度だけの交流に過ぎませんが、五十年間続いています。ありがとう。

奈良県 60代 森本 晋

親友へ

しつらいとき、苦しいときたくさん話を聞いてくれてありがとう。何気ない言葉で重かった心がすんと軽くなったよ。私を支えてくれてありがとう。

鈴鹿市 中学3年生

大切なお友だちへ

誕生日の日、朝一におめでとうって言ってくれたね。一緒に帰ろう、一緒に行くって言ってくれたね。あなたのおかげで私はここにいていいんだって思った。いつもありがとう。これからもよろしくね。

鈴鹿市 中学2年生 野田 美帆

最優秀賞



母ははに関かかわっていただいたたかじ事業者じやうしやさんへ
 脾臓すいぞう癌がんでいよいよ緩和かんわケア病院けあびやういんへ行くい日ひ。お
 別わかれでなく、お見送みおくりですよと教おしえてくれた。
 言葉ことば一つでとても気持きせちが楽らくになりました。あ
 りがとつございました。

津市 30代 古城 有加

最優秀賞 選評

作品から筆者のお母様に対する思いや整理のつかない気持ちがひとつの言葉で癒された情景が鮮明に思い浮かぶようです。受け取る人の気持ちに寄り添った言葉が持つ力の温かさを感じさせる素晴らしい詩だと思えます。私自身の両親についての経験を思い起こされるところもあり、気持ちが増えたという筆者の心の動きがとてもよく伝わってきました。

審査委員 梅谷 康之(三重テレビ放送株式会社報道制作局長)

株式会社中村組賞（四日市市）

地域の民生委員さんへ

いつも横たん歩道で、はた当番をして
 くれるね。「おはよう」が恥ずかしくて
 言えなかったけれど、「二二二」であいさつ
 してくれてありがとう。もっと大きい声
 であいさつするね。

名張市 小学3年生 中谷 瑠莉

株式会社中村組中和会賞（四日市市）

見知らぬおばちゃんへ

雨に打たれて下校したとき、傘を差し
 出してくれてありがとう。私もおばちゃん
 みたいになれるようにがんばるね。

鈴鹿市 中学3年生 前田 陽愛

IXホールディングス賞

菅島灯台へ

菅島の自慢の灯台で、町を、地域を、見守ってくれて安心です。白く、すいせんの花といっしょに、やさしい光をどけてくれて、ありがとう。これからもわたしたちの自慢の菅島灯台でいてね。

鳥羽市 小学5年生 小寺 まなみ

株式会社能登谷商店賞

地元の皆さんへ

父が亡くなって1年が経った。先日も地域の清掃活動に参加すると初対面の方々からお父さんと似てきたねと優しい言葉をかけてくれる。父が残してくれた地元愛にありがとう。

岐阜県 60代 田中 恭司

株ぎゅーとら賞

朝あさの通学途中つうがくとちゆうの子供たちへ

子供こどもたちに「おはよう」と呼びかければ「おはよう」と元気げんきな声こえが返かえってくる朝あさの光景こうけい、当たり前あたりまえすぎてわかりづらいけど、君きみたちみんなが元気げんきを配くばっているんだよ!!

東京都 古畑 雄司

おやつタウン賞

旗当番はたたべのおじいちゃんへ

毎日まいにち「おはよう」と声こえをかけてくれる。おじいちゃんが来こなかった日は、「風邪かぜひいちゃったのかな」と心配しんぱいになりました。毎日まいにち毎日まいにち優しく声こえをかけてくれるおじいちゃん、ありがとう。

桑名市 小学5年生 伊藤 朋花

平松産業株式会社賞

同僚へ
どうりきゅう

68才、再就職はしたけれど、いつまでたっても新しい事が、覚えられない研修生。そんなわたしあなた私を温かい言葉で励まし、辛抱強く教えてくれてありがとうございます。メモ書き沢山頑張ります。

鈴鹿市 70代 森田 玲子

株式会社プラトンホテル賞

こうつうあんぜんのボランティアのせんせいへ
まいあさ、おうだんほごうで見まもってください
ありがとうございます。「まだとおれないよ」「わたって
いいよ」の言ほにあんしんします。いのちをま
もつてくれるヒーローです。

伊勢市 小学2年生 岩城 美音

JAGグループ三重賞

おいちゃんへ

いつも大根^{だいこん}くれて ありがとう。おいちゃん
の真心^{まごころ}がしみていて、おいしいです。「生懸命^{いそひげんめい}
作^{つく}っている おいちゃんが、大好き^{だいすき}です。

大台町 小学5年生 中地 汰鳳

有限会社フィット総合保険賞

信号^{しんごう}のない交差点^{こうさつてん}で止^とまってくれる人^{ひと}たちへ

登下校^{とうげこう}でいつも通^{とお}る交差点^{こうさつてん}。車^{くるま}が止^とまるのを
待^{まち}っている私^{わたし}を見^みつけて止^とまってくれる人^{ひと}。「ど
うぞ通^{とお}って」という意味^{いみ}の優^{やさ}しい顔^{かお}、仕草^{しきくさ}。い
つも助^{たす}かっています。ありがとう。

鈴鹿市 中学2年生 後藤 大慶

優秀賞

通学路をきれいにしてくれた人へ

ゴミが落ちていたときも、落ち葉が落ちていたときもきれいにしてくれました。いつも優しい声でおはようって言うてくれました。いつもありがとうございます。

中学1年生 池田 花音

町内の人達へ

いつも支えてくれてありがとう。海でとれた魚をくれたり、サーブスをしてくれたり、ご飯を分けてくれてとてもうれしいです！私はこの地域がとても大好きです。

鈴鹿市 中学2年生 広森 睦実

佳

作

介護士さんへ

祖母は百歳を機に施設に入所している。家族の代わりにお世話してくださっている介護士さんには感謝しかない。おかげで祖母は穏やかに過ごしており、私も家族も嬉しく思う。

富山県 40代 折田 祐美子

地域の人へ

いつも学校に行く時、「行ってらっしゃい」と言ってくれる。地域の人たちのおかげで心がぽっと温かくなる。優しい地域の人たちに、「ありがとう」と伝えたい。

いなべ市 中学1年生 吉金 正志郎

地域の人へ

「おかえり」って言われて「ただいま?」「
んにちは?」「なんて返せばいいかわからない、
なんだか気恥ずかしいけれど、その一言の心が
温まるよ!いつもありがとう」

中学3年生 堀川 顕大

地域の方々へ

道端の『気をつけてね』、バス停の順番待ち
の譲り合い。小さな善意が道しるべ。いつも見
守ってくれる地域の皆さんに、心からありがと
う。次は私が灯りになります。

埼玉県 中谷 愛

審査委員メッセージ

毎年この時期が来るのを楽しみにしています。家族や友人、身近な人に向けたたくさんの感謝の言葉に触れて、幸せのおすそ分けをしてもらえた気分になります。言葉がなくても分かり合えることを表す「以心伝心」という言葉もあります。感謝の気持ちは言葉で伝えたほうが人間関係が円滑になるでしょう。私自身、この1年何回「ありがとう」と言っただろうかと反省させられました。応募してくれた皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。すてきな言葉をありがとう！

高田短期大学キャリア育成学科長（審査委員長） 野呂 健一

審査に参加させて頂くのは今回が2回目になります。今回も皆さんから寄せられた「感謝の言葉」に心が洗われるような気持ちにさせて頂きました。日本には古来より「言霊」という考え方がありますが、言葉には良くも悪くも私たちの日常に大きな影響を及ぼす力があります。とかく匿名性の高いネットの世界では悪意に満ちたネガティブな「言葉」が溢れがちではありますが、まずは顔の見える身近なところから善意あふれる「言葉」で満たしていくことがポジティブな連鎖を生み出す第一歩なのだと思います。まずは帰って家族に「いつもありがとう」と伝えてみようと思います。

三重テレビ放送株式会社報道制作局長 梅谷 康之

審査委員として、ありがとうの想いが込められた一行詩を拝読させて頂きました。ひとつひとつ拝読させて頂く中で、私の荒んだ心が温かく穏やかになって行くのを感じました。感謝を伝えた人、伝えてもらった人、そしてその光景に立ち会った人、全ての人々が幸せを感じる事が出来る素晴らしい言葉。この言葉を本取り組みに関わる全ての人にも伝えたい…ありがとう御座いました。

株式会社三重フリット（みえ次世代育成応援ネットワーク） 森田 耕平

今年もたくさんさんの「ありがとう」を読ませていただきました。一行詩、という制約の中での短い文章ですが、書かれていない背景や皆さんの思いを想像して、ひとつひとつの作品をゆつくり読んでいます。ほんのちよっとした言葉や行動が「ありがとう」に繋がるのと同じように、また逆もあるのだ、と心に留め、日々を大切に生きていこうと感じました。

審査を終え、心温まる短編集を読了した気持ちです。ありがとうございました。

ピアニスト・ピアノ指導者 飯田 文美

今回もたくさんさんの素敵な作品にであわせていただきました。どの作品も、感謝の心を深く考えるきっかけを与えてくれるものでした。

日常生活において、身近な人への感謝を表現することは、人間関係を豊かにし、優しさを育む基盤となります。受賞作品を通じて、他者の思いやりに気づき、感謝の気持ちを一層抱くことで、より良い社会を築く手助けになることを望みます。

言葉のもつ大切さを再認識させていただいた全ての一行詩に「ありがとう」を伝えたいと思います。

三重県教育委員会教育長 福永 和伸

今回、初めて審査を担当させていただきました。短い一行詩の中には、応募された方の思いが込められており、たくさんさんの心温まる作品に出会うことができました。

「ありがとう」と言われるとお互に通じるものを感じ、心が温かくなります。多くの子どもや大人が自分の中の「ありがとう」に気づき、積極的に表現する中で、「ありがとう」の持つ温かさを皆みんなで共有することができます。その結果、感謝や思いやりの心が家庭や地域で広がっていくことを期待しています。ありがとうございました。

三重県子ども・福祉部長 竹内 康雄

第6期 みえの子ども応援プロジェクト協賛一覧

 野村アセットマネジメント	 Hama Engineering	 JAグループ三重
 井村屋グループ	三重県信用金庫協会	伊勢名物 
いい味。いい未来。 	 NISSAY	

●募集の概要●

【募集作品】 思っているけれどなかなかお互いに伝えられない、大切な人への「ありがとう」の気持ちをテーマにした一行詩。

家族部門 家族に伝える部門です。

友だち部門 友だちに伝える部門です。

地域部門 地域の方、職場の方などに伝える部門です。

【募集期間】 令和7年6月23日（月）～9月30日（火）（当日消印有効）

【主催】 三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク

●応募状況●

応募総数 6,815 作品

●お問合せ●

三重県子ども・福祉部 少子化対策課

TEL 059-224-2057 FAX 059-224-2270

E-mail jisedai@pref.mie.lg.jp

表紙写真は、喜多 洸平 様の作品です。

みえの子ども応援プロジェクトとは？

「全ての子どもが、権利の主体として、豊かで健やかに育ち、安全に安心して暮らすことができる三重」を実現するため、県内外の企業や団体、個人の皆さまからのご寄附を事業費として活用しているプロジェクトです！

「ありがとうの一行詩コンクール」は、いただいたご寄附を事業費として活用させていただきます！

ご寄附の活用事業（令和7年度）

◎オシゴトチャレンジ ミエキッズ(子どもの会社見学)

子どもたちに貴重な学びや体験の機会を提供するため、会社見学に協力する企業と参加団体(幼稚園、保育園、放課後児童クラブ、放課後等デイサービス、子どもの居場所団体等)をマッチングし、会社見学や出前講座を実施しました。

製材業 × 認定こども園



医療法人 × 放課後児童クラブ



◎三重県子どもの学び・体験イベント等開催支援事業

地域の子どものための「学び」や「体験機会」を創出するため、地域の民間団体や企業等が複数で連携して、子どもや子育て家庭を対象とした各種のイベント等を開催しました。

隠 BALIBALI NABARI fes



みらいのたからばこ 2025 in 三重
× 特定非営利活動法人 shining

